

2020年8月31日(月)

老球の細道559号

## 8月の言葉

バスケットボールコーチ 室井 富仁

遂に会津においてもコロナ感染者が発生し、少しずつ増加の兆候が見えてきた。そして遂に8月28日(金)会津が全国制覇を成し遂げた事態も発生「気温日本一」。コロナと熱中症のデイフェンスに集中する8月だったが、孫息子の夏休み明けの「幼稚園行きたくない症候群」も発生。色々なことに揺さぶられた月だったが戦争がないだけめでたしめでたし。

### 1・テレビから

◆「抗うことが人間の証し。全ての人間の価値を築きあげる」〈NHK：世界の哲学者に人生相談：カミュ〉：ペストのパンデミックを扱った小説、カミュの『ペスト』が今読書のパンデミックを起こしているという。現在にも類似する状況の中で人間はどう生きるべきか。自分にできることをやり続けることという。バスケットマンはバスケットでコロナに抗う。

### 2・読書から

「プレッシャーなど感じないね。出場しないでベンチにいるほうが、よほどプレッシャーを感じるよ。自分の好きなことをやるのになぜプレッシャーがかかるのかね」〈ハルバースタム『勝負の分かれ目・下』(サイマル出版会)〉：バスケットボールだけやるのではなくて、黒人差別などの社会問題に対してもすぐに行動を起こすNBA選手たちの心意気がゲームへの立ち向かい方にも表れている。日本のバスケット少年少女たちよ大志を抱け。

### 3・新聞から

◆「忘却は死者に対する最大の侮辱」〈朝日：人生の贈りもの：民俗学者・新谷尚紀〉：終戦後75年。節目の年に色々な戦争関連のTV番組を観て、読書に興じた。改めて戦争の悲惨さはコロナの比ではない。世の中の付和雷同、同調圧力に流されてはいけないことを肝に銘ず。大切な一度きりの人生は「平和、健康、夢、希望」のファンダメンタルがあつてこそ。

◆「DO YOUR BEST AND IT MUST BE FIRST CLASS (最善を尽くし一流たるべし)」〈朝日：経済気象台：今求められる行動規範とは〉：「日本のアメフトの父」と称される米国人のポール・ラッシュの言葉。彼は自分が担う仕事に対しての結果への責任感と質へのこだわりを行動規範にしたという。今が二流、三流でも、やるからには目指すは超一流である。

◆「大切なのは、陽性者が出たあとの対応であろう。老弱男女、誰もが安心して感染できる世の中でありたい。そうならば闘う相手はウイルスだけで済む」〈朝日：天声人語〉：会津地区においてもコロナ感染者が遂に出た。ウイルスは磐梯山などものともしない。全国あちこちで繰り返される「感染者と家族をなじる言動」は会津では「ならぬことにはなりません」。

◆「最大の悲劇は悪人の暴力ではなく、善人の沈黙である。沈黙は暴力の陰に隠れた同罪者である」〈朝日：天声人語〉：黒人のへの差別抗議集会で、あるテニス選手が、人種差別運動の父キング牧師の1963年ワシントンDCリンカーン記念講堂での演説を引用して訴えた。75年前の日本の悲劇的な戦争もこのような沈黙によっていつのまにか泥沼に陥った。